平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95100	スポーツライフ推進事業費	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	番枝				2357

予算			総合計画			
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	1	体育総務費	施策	1	スポーツ活動の充実

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	スポーツライフ推進事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097　人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催によりスポーツ活動を推進する 一流選手等とのふれあいにより、子ども達に夢を与え、スポーツに取り組むきっかけづくりを行う		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催 子ども夢創造事業による実施 国体を契機とした競技人口の拡大		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	・スポーツ教室やスポーツ大会の開催 ・FC岐阜連携事業(サッカー教室)の開催

	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	開催回数	回	目標値	90	90	100
			実績値	114	111	－
	算出根拠等		達成率(%)	127	123	－
成果指標	参加者数(延べ人数)	人	目標値	11,200	11,200	13,000
			実績値	13,384	11,227	－
	算出根拠等		達成率(%)	120	100	－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)		(A)	1,949	2,260	5,000
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				200
	一般財源		1,949	2,260	4,800
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A／B)	146	201	385
	受益者　参加者	(B)	13,384	11,227	13,000

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・生活様式の多様化や健康志向の高まりなどから、スポーツに対する市民ニーズは年々高まっている
		B (1)	ある程度のニーズがある		
		C (0)	ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・誰もが生涯を通じてスポーツに親しむ環境をつくるためには、市が事業主体となり、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツにふれる機会の拡充を図る必要がある
		B (1)	一部見直しが必要である		
		C (0)	市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・活動及び成果指標の目標値を十分に達成している ・子どもたちを対象とした事業は、多くの参加者があり、スポーツに親しむきっかけづくりや、スポーツにふれる機会につながった
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・スポーツ教室等の開催を通じて、スポーツに親しむ機会が創出されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
		B (1)	ある程度効果があった		
		C (0)	あまり効果が見られなかった		
合計		8 ／ 10	→	100点換算	80　点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・市民ニーズに応じたスポーツ教室等を開催していく必要がある ・子どもたちがスポーツを通じて将来の夢を育むことができるような事業展開が必要である
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・引き続き、市民ニーズに対応したスポーツ教室の開催等参加者の増加に努める必要がある ・FC岐阜連携事業等については、市民ニーズや受益の偏在等を再検証した上で検討していく必要がある

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・ぎふ清流国体の開催を契機としたスポーツの振興を図る(新規:飛騨高山ブラックブルズ岐阜との連携事業) ・子ども達が、スポーツを通じて将来を育むことができるトップレベル選手等を招へい ・国体開催記念ウィークイベントの開催

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・スポーツ教室やスポーツ大会等の開催によりスポーツ活動を推進する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・市民ニーズに対応したスポーツ教室の開催等参加者の増加に努める必要がある。 ・子ども夢創造事業の効果分析を行う必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95110	スポーツ推進委員会事業費	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	番枝				2357

予算			総合計画			
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	1	体育総務費	施策	1	スポーツ活動の充実

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	スポーツ推進員会事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097　人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員の活動を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進委員の委嘱		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	スポーツ推進委員の委嘱(80人)

	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	スポーツ推進委員活動数(研修会含む)	回	目標値	60	60	60
			実績値	57	69	－
	算出根拠等		達成率(%)	95	115	－
成果指標	活動延べ人数(研修会含む)	人	目標値	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,198	1,665	－
	算出根拠等		達成率(%)	80	111	－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)		(A)	7,878	7,987	7,792
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源		7,878	7,987	7,792
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A／B)	84	86	85
	受益者　市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

	評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・市民の健康志向やスポーツニーズの高まりとともに、スポーツ推進委員に対して適正な指導・助言を求める声は高い ・スポーツ基本法の制定に伴い、地域スポーツ活動の推進体制のより一層の充実が求められており、スポーツ推進委員の役割はますます重要となっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・スポーツ基本法にもとづく委員である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・コストの大部分がスポーツ推進委員の報酬である
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・スポーツ推進委員の活動を通じて、スポーツ参加機会の創出が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		
合計			8 ／ 10	→	100点換算	80　点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・スポーツ推進委員と住民との関わりの充実を図る必要がある ・スポーツ推進委員のあり方について検討する必要がある
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員の活動を推進する ・スポーツ推進委員のあり方の検討結果にもとづき対応する(スポーツ推進委員活動の充実)

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・スポーツ推進委員の資質向上に向けた取り組み ・スポーツ推進委員のあり方についての検討

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員活動を推進する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95125	スポーツ少年団育成補助金	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	番枝				2357

予算			総合計画			
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	1	体育総務費	施策	1	スポーツ活動の充実

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	地域スポーツ活動推進事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	スポーツ少年団員	対象者数	1,571　人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ少年団活動に対する支援		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	高山市スポーツ少年団に対する支援

	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	スポーツ少年団活動回数	回	目標値	27	27	27
			実績値	26	26	－
	算出根拠等		達成率(%)	96	96	－
成果指標	スポーツ少年団員数	人	目標値	1,710	1,710	1,710
			実績値	1,626	1,571	－
	算出根拠等		達成率(%)	95	92	－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)		(A)	750	750	750
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源		750	750	750
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A／B)	461	477	439
	受益者	スポーツ少年団員(4月1日現在)　(B)	1,626	1,571	1,710

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・スポーツ少年団活動は、青少年期における重要な活動であり、市民ニーズは高い
		B (1)	ある程度のニーズがある		
		C (0)	ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・少年期にスポーツ活動に取り組める環境を整備することは、青少年の健全育成はもとより、生涯スポーツ社会の実現の基礎を築くものであり、市がスポーツ少年団の活動を支援する必要がある
		B (1)	一部見直しが必要である		
		C (0)	市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動及び成果指標の目標値は概ね達成している
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・支援のあり方等について検討している
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちがスポーツ活動に取り組める環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
		B (1)	ある程度効果があった		
		C (0)	あまり効果が見られなかった		
合計		7 ／ 10	→	100点換算	70　点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・スポーツ少年団の活動状況の把握分析と支援のあり方について検討する必要がある
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・スポーツ少年団への支援については、意図・成果目標を明確にするとともに、各計画における位置付けや既存事業との調整等、整理が必要である

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・スポーツ少年団の活動状況の把握分析と支援のあり方についての検討

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る ・スポーツ少年団活動の充実を図る				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95130	各種体育大会開催補助金	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	枝番				2357

予算			総合計画			
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	1	体育総務費	施策	1	スポーツ活動の充実

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	スポーツ大会開催事業・地域スポーツ活動推進事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097　人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツに触れ合い、取り組むきっかけをつくる ・全国から集う多くの選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	飛騨高山社会人野球大会等の開催支援		

2　事業の推移・結果(Do)

H24の実績	・飛騨高山社会人野球大会の開催 ・全国高等学校選抜スキー大会の開催

成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	大会開催数	大会	目標値	2	2	1
			実績値	2	2	－
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	－
成果指標	観客数	人	目標値	1,200	1,200	500
			実績値	1,200	1,200	－
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
	歳出　(千円)　(A)	6,450	6,450	1,950
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	4,000	4,000	
	一般財源	2,450	2,450	1,950
コスト指標	受益者1件当たり(円)　(A／B)	5,375	5,375	3,900
	受益者　観客　(B)	1,200	1,200	500

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

	評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・一流の競技スポーツにふれる機会を求める市民ニーズは高い ・大会誘致がもたらす経済効果に期待する声も大きい
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・全国レベルの大会の開催は、市民のスポーツに対する関心の高まりやスポーツに取り組むきっかけづくり、地域の活性化等の効果が期待されるため、市が主体となって誘致に取り組む必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・活動・成果指標の目標値を十分に達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・活性化センターの助成金の削減等を踏まえ、コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・全国レベルの大会の誘致を通じて、スポーツに関する意識が醸成されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計	8 ／ 10	→	100点換算	80 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・大会参加選手と市民との交流機会の拡充を図る必要がある
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・それぞれの大会について、意図・成果目標を明確にするとともに、各計画における位置付けや既存事業との調整等、整理が必要である

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・既存事業への支援の継続

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・ぎふ清流国体開催を契機にしたスポーツの推進を図るため、全国規模の大会を積極的に誘致する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・補助金の効果分析を行い、今後のあり方について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95135	体育総務事務費	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	枝番				2357

予算			総合計画			
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	1	体育総務費	施策	1	スポーツ活動の充実

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097　人
	どういう状態にしたいのか(意図)	高山市第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進事務		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	・スポーツ推進審議会の開催 ・全国大会等出場者への激励 ・海洋体験学習参加への助成 ・スポーツイベント来高者に対するおもてなし対応

	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	人数(激励・海洋体験)	人	目標値		308	308
			実績値	325	307	－
	算出根拠等		達成率(%)		100	－
成果指標			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)		(A)	2,252	2,418	1,985
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		156	141	234
	一般財源		2,096	2,277	1,751
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A／B)	6,929	7,876	6,445
	受益者　人数(激励・海洋体験)	(B)	325	307	308

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・生活様式の多様化や健康志向の高まりなどから、スポーツへの関心や市民ニーズは高い
		B (1)	ある程度のニーズがある		
		C (0)	ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市や関係団体、市民等が一体となって、第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る必要があるため、市が事業主体であることは妥当である
		B (1)	一部見直しが必要である		
		C (0)	市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	・スポーツ推進に係る事務費であり、活動・成果指標の設定が困難である
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・各種取り組みを通じて、誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
		B (1)	ある程度効果があった		
		C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計	6 ／ 8	→	100点換算	75 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・より一層のスポーツの普及や競技力の向上を図るため、専門的スポーツ指導者の育成や確保が必要である ・ぎふ清流国体の開催を契機として、今後のスポーツの推進及び普及に努めていく必要がある
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・スポーツ指導者養成に向けた支援については、市体育協会との役割分担等に留意しながら検討する必要がある

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・スポーツ指導者養成に向けた支援についての検討 ・ぎふ清流国体の開催を契機とした更なるスポーツ活動の推進 ・高山市第四次スポーツ振興基本計画の策定に向けた準備

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・高山市第四次スポーツ振興基本計画を策定する ・ぎふ清流国体開催を契機とした更なるスポーツ推進策を検討する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・スポーツ指導者養成に向けた支援については、市体育協会との役割分担等に留意しながら検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95230	体育施設維持管理費	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	番枝				2357

予算			総合計画		
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	2	体育施設費	施策	2	スポーツ設備の整備

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	スポーツ施設管理事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097　人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	体育施設の適正な維持管理により、市民の利用を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	指定管理者による施設の維持管理等		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	指定管理者による施設の維持管理等

	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	施設数	施設	目標値	64	64	64
			実績値	64	64	－
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	－
成果指標	利用者数	人	目標値	580,000	580,000	580,000
			実績値	525,492	588,775	－
	算出根拠等		達成率(%)	91	102	－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)		(A)	172,766	170,812	173,167
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		934	916	920
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源		171,832	169,896	172,247
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A／B)	329	290	299
	受益者　体育施設利用者	(B)	525,492	588,775	580,000

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

	評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・利用者が安全、安心に施設を利用するために適正な維持管理が必要である
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の維持管理である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・指定管理者制度を導入し適正な管理のもと、利用者が増加傾向にある
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理制度を導入し、利用者へのサービスの向上、コスト縮減に努めている ・施設の統廃合について、検討する必要がある
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な維持管理により、安全で安心して利用できるスポーツ環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		
合計			9 ／ 10	→	100点換算	90　点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合等について検討する必要がある ・利用期間の拡大など施設のより一層の利用促進を図る必要がある ・施設使用料について検討する必要がある
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・体育施設の維持管理については、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・施設の状況分析や利用者意見を集約し、施設管理の改善、充実を図る

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・体育施設の維持管理については、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95235	夜間照明体育施設維持管理費	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	枝番				2357

予算			総合計画			
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	2	体育施設費	施策	2	スポーツ施設の整備

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	スポーツ施設管理事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097　人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域の社会体育事業を促進するため、夜間におけるスポーツ活動環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	・小中学校グラウンドの夜間照明の維持管理 ・高等学校夜間照明施設の利用		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	・小中学校グラウンドの夜間照明の維持管理 ・高等学校夜間照明施設の利用

	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	施設数	施設	目標値	27	27	27
			実績値	27	27	－
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	－
成果指標	利用者数	人	目標値	35,000	35,000	35,000
			実績値	23,951	32,291	－
	算出根拠等		達成率(%)	68	92	－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)		(A)	2,630	2,533	2,710
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		1,013	1,110	1,200
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源		1,617	1,423	1,510
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A／B)	110	78	77
	受益者　夜間照明施設利用者	(B)	23,951	32,291	35,000

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・夜間にスポーツ活動をしたいという市民ニーズは高い
		B (1)	ある程度のニーズがある		
		C (0)	ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の維持管理である
		B (1)	一部見直しが必要である		
		C (0)	市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・冬期間の利用を望む意見に対しての検討が必要である
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・利用可能期間以外は通電停止を行うなど、コスト縮減に努めている
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・夜間におけるスポーツ環境が確保される等、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった
		B (1)	ある程度効果があった		
		C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計	8 ／ 10	→	100点換算	80 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・利用期間の拡大について検討する必要がある ・施設の老朽化に伴い、計画的な照明施設の修繕が必要である
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・将来負担や財源を考慮した適正な修繕計画に見直す必要がある

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・施設の利用状況の把握分析と利用者意見の集約 ・施設修繕計画に基づいた施設修繕

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る ・第四次スポーツ振興基本計画の策定にあわせた中期的な照明施設の修繕計画を策定する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95238 番枝	高地トレーニング強化拠点施設高機能化事業	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線 2357

予算			総合計画			
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	2	体育施設費	施策	2	スポーツ施設の整備

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	飛騨御嶽高原ナショナル高地トレーニングエリア推進事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、国内外スポーツ競技者	対象者数	92,097 人超
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設の指定を踏まえ、医科学的サポート機能をはじめとするトレーニング環境を整備し、スポーツ振興と地域の活性化を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	高地トレーニング強化拠点活用事業の実施(国の委託事業) 飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	・高地トレーニング強化拠点活用事業の実施(国の委託事業) ・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進

	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
活動指標	施設数	施設	目標値	1	1	1
			実績値	1	1	－
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	－
活動指標	利用者数	人	目標値	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,666	1,726	－
	算出根拠等		達成率(%)	139	144	－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－
			目標値			
			実績値			－
	算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)		(A)	12,678	18,051	29,392
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		2,215	1,836	1,800
財源内訳	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		1,372	2,441	10,000
財源内訳	一般財源		9,091	13,774	17,592
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A／B)	7,610	10,458	24,493
コスト指標	受益者　高トレ施設利用者	(B)	1,666	1,726	1,200

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	B	・高地トレーニングに対する認識の高まりとともに、国内外からの利用者は増加傾向にあるが、地元選手の活用につなげる必要がある
		B (1)	ある程度のニーズがある		
		C (0)	ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設の指定を踏まえ、下呂市や民間との連携を図りながら、市が主体的に取り組む必要がある
		B (1)	一部見直しが必要である		
		C (0)	市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・活動及び成果指標の目標値を十分に達成している
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理制度の導入についての検討が必要である
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの整備により、スポーツの振興と地域の活性化が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
		B (1)	ある程度効果があった		
		C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計	7 ／ 10	→	100点換算	70 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・高地トレーニング環境の整備と利用促進を図る必要がある ・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの指定管理制度導入の是非について検討をする必要がある
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・高地トレーニング施設については、更なる利用率の向上とコスト面における効率化をすすめる必要がある ・体育施設の維持管理については、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・高地トレーニングエリア環境の整備と利用促進 ・飛騨高山御岳トレーニングの指定管理導入に向けた検討 ・国や県、JOC機関との連携強化

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・高地トレーニング環境の整備と利用促進を図る				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・高地トレーニング施設については、さらなる利用率の向上とコスト面における効率化をすすめる必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95240	体育施設改修整備事業費	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	番枝				2357

予算			総合計画			
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	2	体育施設費	施策	2	スポーツ施設の整備

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	スポーツ施設整備事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097　人
	どういう状態にしたいのか(意図)	誰もが安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の改修整備		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	中山公園野球場夜間照明灯改修工事ほか

指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
利用者	人	目標値		580,000	580,000
		実績値	525,492	588,775	－
算出根拠等		達成率(%)		102	－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)　(A)	29,916	47,422	35,000
財源内訳　受益者負担(使用料・負担金等)			
財源内訳　その他特定財源(国・県支出金・起債等)	9,400	11,025	
財源内訳　一般財源	20,516	36,397	35,000
コスト指標　受益者1件当たり(円)　(A／B)	57	81	60
コスト指標　受益者　体育施設利用者　(B)	525,492	588,775	580,000

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民ニーズは高まっている
		B (1)	ある程度のニーズがある		
		C (0)	ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の改修整備である
		B (1)	一部見直しが必要である		
		C (0)	市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	・施設の改修整備事業であり、事業内容が多岐にわたるため、成果指標の設定が困難である
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減等を図りながら、計画的に整備改修を行っている
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・施設の改修整備により、利便性の向上や安全性の確保が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった
		B (1)	ある程度効果があった		
		C (0)	あまり効果が見られなかった		
合計		7 ／ 8	→	100点換算	88　点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて、計画的に改修整備を行う必要がある
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・競技人口のバランスを配慮した施設整備を行う必要がある ・非構造部材の安全対策も含め、将来負担や財源を考慮した適正な施設修繕計画に見直す必要がある

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・市民ニーズ、施設の利用状況、修繕の緊急性、非構造部材の耐震化等を踏まえた施設修繕計画の策定 ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた改修整備

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・非構造部材の耐震診断結果を踏まえた施設修繕計画を策定する ・施設修繕計画に基づき改修整備を実施する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・競技人口のバランスを配慮した施設整備を行う必要がある。 ・将来負担や財源を考慮した適正な施設修繕計画を策定する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	95245	体育施設管理事務費	担当課	市民活動部　スポーツ推進課	内線
	番枝				2357

予算			総合計画		
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
款	9	教育費	分野	3	スポーツ
項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
目	2	体育施設費	施策	2	スポーツ施設の整備

根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画
実施計画事業	スポーツ施設管理事業
市長公約	

1　事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097　人
	どういう状態にしたいのか(意図)	体育施設を適正に管理運営する		
概要	事業の実施手法(手段)	管理事務		

2　事業の推移・結果(Do)

成果面

H24の実績	・管理事務費 ・公衆便所清掃委託

指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－
		目標値			
		実績値			－
算出根拠等		達成率(%)			－

補足事項

コスト面

事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出　(千円)		(A)	4,133	4,300	3,992
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源		4,133	4,300	3,992
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A／B)	44	46	43
	受益者	市民(4月1日現在)　(B)	93,312	92,861	92,097

3　分析・評価(Check)　※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・施設の利用促進を図り、市民の健康増進を図るためには、適正な維持管理が必要である
		B (1)	ある程度のニーズがある		
		C (0)	ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理事務である
		B (1)	一部見直しが必要である		
		C (0)	市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	・施設の管理事務であり、活動及び成果指標の設定が困難である
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、安全で安心して利用できるスポーツ環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった
		B (1)	ある程度効果があった		
		C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計	7 ／ 8	→	100点換算	88 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・コスト縮減を図りながら、施設を適正に管理する必要がある
(参考)H24事業評価結果(二次評価)	・コスト縮減を図りながら、施設を適正に管理する

4　今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・施設の適正な管理

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・コスト縮減を図りながら、施設を適正に管理する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				